

教育行政報告(要約)



はじめに  
—井平教育長就任挨拶—

8月28日の第4回積丹町議会臨時会で、議会の同意をいただき、9月9日に積丹町教育委員として任命され、その後開催されました積丹町教育委員会において教育長に選任されました。

このことは、大変光栄でありますと共に責任の重さに身の引き締まる思いがしています。30余年の教職員生活から教育行政へと身を転じ、教育行政は初めての経験ではありますが、教育現場での経験を生かし努力する所存です。

教育行政におきましては、第4次積丹町総合計画の「4つの施策の大綱」の4点目にありま

す「地域ぐるみで温もりある教育と薫り高い文化のまちづくり」を実現すべく一翼を担っていく大きな役割と使命があると考えます。

私は、「町づくりは人づくりから」という基本理念と「教育は人なり」という不易を合わせて本町の教育の執行にあたっていきます。

これからの学校は、学校・家庭・地域が一体となった教育活動が必要であり、「地域の中の学校」として存在し、機能することが求められています。また、一方では町民が生涯にわたって学び続ける体制や環境を整えていくことが生涯学習の根幹でもあります。

そのための社会教育や社会体育を共に進めていかなければならないと考えます。

先人が、大変な労苦の中から築き上げてきたこの町をさらに発展するような人材の育成に寄与してまいります。

学校教育について

児童・生徒における夏季休業は、小学校は25日間、中学校は24日間で、2学期は小学校が8月19日から中学校は18日からそれぞれが始まり、児童・生徒は事故もなく、元気に登校し学校生活を送っています。

この夏休み期間中は、家庭を中心とした生活形態ですが地域社会の沢山の人々と触れ合う機会も多く、その中から主体的に学び自ら行動することができ、基礎的な学習能力や基本的な知識が身についたものと考えます。

生涯学習について

B&G海洋センターの管理・運営について

昨年度に引き続き利用期間を短縮し、7月1日から8月30日までの2カ月間開放しました。

今年5月1日からの料金改正に伴い、利用者の減少を心配していました。この期間の利用人数は延べ、1,656人(前年度比63.6人減)になっています。

これは、昨年度に本町で開催されたB&Gスポーツ大会北海道大会(水泳の部)での利用者319名の減が大きく影響している。この期間の使用料の累計については3万5千円(前年度比1万8千円増)となっています。

海洋センターの利用増を図るため、町内小・中学生の夏休み期間中の無料送迎バスの運行については、8月5日・6日の2日間で全2回運行し、延べ利用者は14名(前年度比34名減)になっています。

社会体育事業の各種スポーツ教室について

「ジュニア水泳教室」を、7月28日から30日までの3日間、町内の小学生を対象に開催しました。参加人数は延べ90名(前年度比37名増)で、プールでシュノーケリング体験とライフジャケット浮遊体験などのほか、全49市町で同日に行なったアクアキッズフェス2009(水中運動会)を実施しました。

8月7日には「海中探索体験教室」を開催し、20名の小学生が海外でライフジャケットを着用したシュノーケリングの実践

や、海中の動植物について説明を受け自然保護の必要性と、海の危険性を学びました。

これらは、子どもたちの発達段階において、最も大切な基礎的体力や心身の発達の向上に優れている五感を使った体験的な活動であることから、今後実施したいと考えています。

「第21回北後志ゲートボール夏季大会」が北後志ゲートボール連絡協議会の主催で6月14日に本町の海洋センターで開催され、3町村8チーム、最高齢89歳の方を筆頭に53名が集い、健康づくりと親睦交流を深めました。

また「平成21年度B&Gスポーツ大会北海道大会」(水泳の部)が8月2日に和寒町を会場に、全道13海洋センターから監督・選手及び関係者139名が参加し、個人4種目の12競技と団体2種目の4競技が行われました。

本町からも積丹町ジュニア・スイミングクラブに所属する小・中学生14名が参加し、6競技で5名が上位に入賞するなど、日頃の練習成果を十分に発揮しました。

